

第 59 回情報交流の会 実施報告書 (HP)

開催日時	2024 年 2 月 3 日(土) 13:30～17:00
開催場所	会場（シルクセンター）とオンライン（Zoom Meeting）によるハイブリッド開催
参加人数	参加者 21 名（正会員 21 名）（講師 3 名、招聘理事 1 名を含む）

◆開会挨拶：松田支部長から、能登地震被災者へのお見舞い、本会への期待など挨拶があった。

◆本部理事会報告：渡邊理事から、1 月 11 日第 5 回理事会における、規則変更などの報告があった。

◆県支部活動紹介：支部の各委員会から、活動状況の報告があった。

◆会員による CPD 講演

講演 1 「マシンビジョンカメラ製造 DX の取り組み」 講師 東芝テリー（株）前田博人氏（電気電子）



講師は衛星地上局・放送機器の設計や中国法人の立上げを経て、東芝テリーに移籍し社長に就任した。カメラは、製造現場での視覚として多用され、製造 DX に必須になっ

ている。自社のカメラ製造にも、初心者でも熟練技術者と同等の作業レベルを発揮できる製造 DX に取り組んでいる。

講演 2 「電気痕による発火元鑑識技術」 講師 三菱電機（株）藤間美子氏（金属）



講師は三菱電機の研究開発部門で製品の故障・事故解析に従事していた。NITE の解析手法に沿って、発火機序を検討した。発火痕を一次・二次痕を識別し発火源を特定する。Cu のデンドライトや結晶粒を観察し、各々 DAS(Dendrite Arm Space)法や CS(Cell Size)

法で発火状況が解析ができ、実験的に確認された。

講演 3 「化石資源を使わない世の中へ」 講師 iPEACE223（株）児島宏之氏（生物工学）



講師は昨年 12 年に設立したばかりのスタートアップについて紹介したい。味の素での微生物応用のプロセス開発を背景に、生物工学系投資会社(UMI)、アンモニア合成 (TsubameBHB)の事業に参画している。iPEACE はバイオ由来の炭素数 2(エチレン等)物質

から炭素数 3 のプロピレン等を作ることを目指しており、化学物質の脱炭素を進めたい。ゼオライト触媒が鍵で反応温度や収率に優れ、触媒の改良により工業化を目指す。

◆交流会

・新入会、初参加、久しぶりの方々からひと言自己紹介を頂き、17:00 まで歓談交流会がありました。